



創立1880年

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18 日本キリスト教会館6階 Tel 03-6302-1960 URL http://tokyo.ymca.or.jp 発行所 公益財団法人 東京YMCA 発行人 菅谷 淳

東京YMCA

2025

東京YMCAの使命

東京YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神にもとづいて、青少年の精神、知性、身体の全人的成長を願い、地域社会に奉仕し、公正で平和な世界をつくるための運動を展開する。

東京YMCA ソシアスフォーラム2024

外国にルーツのある子どもたちの現状と課題を学ぶ

社会課題やYMCAの働きについて学び、交流する会「ソシアスフォーラム2024」が2月1日、山手「コミュニティセンター」で開催されました。テーマは「日本社会で生きる外国にルーツのある子どもたち」。会場とオンライン合わせて83人が参加しました。

第1部 「外国にルーツのある子どもたちの支援の現場から」

東京YMCAの日本語学習支援を担当する是常景子さんと東京YMCA多文化共生スペース▽(さんかく)の江尻明子MDが登壇し、具体的な事例をあげながら、課題と必要な支援について講演しました(下記参照)。

第2部 報告・アピール

東京YMCA社会体育・保育専門学校と東京YMCA国際ホテル専門学校の学生が「能登半島豪雨支援活動報告」を行いました。



社会体育・保育専門学校(左)と国際ホテル専門学校(右、録画)の「能登半島豪雨支援活動報告」



「能登の物産品販売コーナー」では油揚げ、豆腐、出汁、塩チョコ、輪島塗食器などを販売

「能登の庄」の大向洋介さんがオンラインで参加し、復旧状況を報告

校の学生が「能登半島豪雨支援活動報告」を行い、現地で行ったボランティア活動や感想を共有しました。ボランティア活動中に輪島市町野町に住む祖母の倒壊した自宅を訪ねたという学生は、「苦しい、悔しい気持ちがあった。自分にできることがあれば力になりたい」と力強く語りました。国際ホテル専門学校卒業生で老舗旅館「能登の庄」の専務である大向洋介さんもオンラインで参加し、現在の復旧状況を報告。少しずつ作業が進んでいるものの、市内6校が入った仮設小学校の運動場も未だ使用できず、復興には時間と支

援が必要であることが伝えられました。また、2月1日から開始した「外国にルーツのある子どもたちに体験の機会を届けるためのクラウドファンディング」(3面)への協力が呼びかけられました。

能登物産展 コーナーも

会場では、町野町でのYMCAの復興支援活動によってつながった人たちから届いた物産品が販売され、多くの方が買い物をして協力しました。売り上げは、能登半島豪雨復興支援のために使われます。(広報室)

講演要

東京YMCA 多文化共生スペース▽(さんかく) MD 江尻明子さん

日本で直面する3つの壁+α

東京の人口約1400万人のうち、約5%は外国人。今後も、外国にルーツのある子どもたちの増加が予想されます。日本で暮らす外国人は、一般的に3つの壁があり、さらに子ども特有の課題もあります。



江尻明子さん

①言葉の壁(日本語の理解や他者との意思疎通の難しさ) ②制度の壁(情報へのアクセスの困難、母国と異なる制度やルール、在留資格による制限) ③心の壁(周囲の人との違いによる疎外感、悪意のない差別や思い込み)

④子ども特有の課題(日本語学習の負担、アイデンティティの混乱、将来への不安、日本語の上達により強いられる役割)

これらは避けて通れない困難ですが、一人でも多くの人が理解することによって、彼らが生きやすい社会が作れると思います。

多文化共生スペース▽(さんかく)の取り組み 1. にほんご・学習サポート「サニサイド」 2. 体験プログラム「みつくす！」

3. 外国にルーツのある子どもたちを対象としたサマーキャンプ

東京YMCA 青少年育成事業部 日本語学習支援担当 是常景子さん



是常景子さん

東京YMCAの日本語学習支援「いちこの部屋」

外国にルーツのある子どもたちの支援を始めたのは、2005年に在留外国人の女性の生きづらさに着目したことがきっかけ。最初は居場所づくりをしましたが、子どもの学習支援の場が少ないとの声があがり、学習支援をスタートしました。現在は、24人の子どもが登録し、週3回、ボランティアと一対一で学習しています。保護者のカフェや外出プログラムも始めました。

個別の支援の大切さ

子どもに今必要な支援は、それぞれ違います。

「外国にルーツのある子どもたちの支援の現場から」より

互いに理解し、仲間と友情を深める。東京YMCAとの協働開催

他団体から「日本語学習支援はできるが、体験の機会を作ることが難しい」という声がかかれます。東京YMCAのこうした活動は、大きな意味を持つと感じます。

「誰かがよりよく生きる」ことを考える仲間を増やし、共に体験してつながっていく。そのためにも、財政的基盤と人材育成が必要で、新しい拠点も検討しています。

スペース▽(さんかく)の今後

社会課題を世の中に発信し、「誰もがよりよく生きる」ことを考える仲間を増やし、共に体験してつながっていく。そのためにも、財政的基盤と人材育成が必要で、新しい拠点も検討しています。

例えば、受験生なら勉強の学校に通っている子どもに対して「もう支援はいらない」と言われることがありません。同じ学校でもクラスが違えば宿題も違います。ですから、一対一の支援は大切です。

体験が子どもたちの励みに

日頃、お出かけの機会が少ない子どもたちがサークルに参加すると、学校でキャンプの話を話したくて日本語で伝えようとしています。体験の機会が少ない子どもたちに体験を届けることは、子どもたちの励みとなり、日々の生活に活力を与える、とても大切なことだと思います。

赤△三角

「神よ変えることのできるものについて、それを変えるだけの勇気を与えらるゝと与えたまへ。変えることのできないものについては、それを受けいれるだけの冷静さを与えたまへ。そして、変えることのできないものとを、識別する知恵を与えたまへ。」(ラインホルド・ニーバーの祈りの一部である。(大木英夫 訳) ▼私が入職した1991年当時、東京YMCAも大きく変わった。最初に勤務した英語専門学校も、学生たちを引率して訪れた野辺山高原センターも、今はない。▼しかし、変わらないものがYMCAにはある。「赤△三角」である。スピリット、マインド、ボディ。若い頃は精神と知性の豊かさを求めがちだった私も、今では、身体を尊重することが神様から与えられた器を生かすことだと知ることになった。YMCAはこの3つを調和の取れた三角形として捉え、一人ひとりの全人的成長に取り組んでいる。▼時代の変化に応じてしなやかに変わりつつも、私たちは赤△三角を生きている。神様から与えられた一人ひとりの赤△三角を尊重し、喜びあっている団体として、YMCAが変わることではない。(保育園ねがいAD 真鍋 泉)

第900回記念

早天祈禱会を開催

2月3日午前7時、「第900回記念早天祈禱会」が山手センターにて開催されました。1922年10月に始まり、100年を超える歴史を持つ早天祈禱会は、東京YMCAの会員有志により連綿と受け継がれてきました。聖書を読む小さな集いから始まったYMCAの原点を思い起こし、東京YMCAの活動が聖書により導かれるようにとの願いから、毎月月初の早朝に礼拝形式の祈禱会が守られていす。奨励者の選定や依頼にはじまり、当日の司会進行など、ミッション委員の積極的な関わりの中で運営がなされているのが大きな特徴です。コロナ禍を経てオンライン併用の開催形式が定着し、海外や遠方に住む方も叶うようになり、嬉しいことに近年少ずつ参加者が増えています。

今回は900回目の記念とあって久しぶりに参加された方もあり、46人が集いました。日本基督教団早稲田教会の古賀博牧師（東京YMCA評議員会会長）に、人気アニメ「アンパンマン」のキャラクターの原型が中年の冴えないおじさんであったことになぞらえ、「中年のおじさんが…」と題して心に響くメッセージをいただきました。祈禱会後は、朝食をともにした和やかな懇親会

ながら懇親の時を持ち、参加者一人ひとりが近況や早天祈禱会の思い出などを語りました。また、早天祈禱会の歴史をまとめた小冊子「第900回記念東京YMCA早天祈禱会記録集」が配布されました。（会員部・総務部MD 戸坂昇子）

東京YMCAが多くの方の祈りによって支えられてきたことを覚え、1000回に向けて大切に紡いでいきたいと願います。



祈禱会後、朝食をともにした和やかな懇親会



「第900回記念早天祈禱会」の参加者

山中湖センター100周年記念募金 使途報告

1. キャンプ100人招待プログラム 500万円 (5万円×100人)
さまざまな理由によりキャンプに参加しづらい子どもたち100人を無料でキャンプに招待
2. 教育プログラム施設の新設 約900万円
アーチェリーレンジ、クライミングウォール、プロジェクトアドベンチャー3つ（*）
*仲間との信頼関係の構築、自己実現と他者との共生について学ぶ北米発祥の教育プログラム
3. 宿泊施設のリノベーション 約1,600万円
宿泊棟内、宿泊室の内装リニューアルおよび各キャンピングへの「誰でもトイレ」新設（*）
*キャンプ場のユニバーサルデザイン化（誰でも利用できる）の促進

山中湖センター100周年記念募金は、東京YMCAとして初めてとなる大規模なクラウドファンディング、各種チャリティイベントの益金などに加え、企業や団体からのご支援も賜り、総額で3千万2,000円という大きなご支援を頂戴することができました。本募金を通して、山中湖センターがどれだけ多くの方に愛され、支えられて、100年という月日を積み重ねてきたのかを（野外教育・ユースMD 鳩山徹郎）

山中湖センター100周年記念事業が終了 募金で開かれた 未来への一歩



お預かりした募金は、左記の使途報告にある3つの記念事業に用いさせていただきます。 （各事業の報告は、その都度、ホームページや機関紙に掲載）

4面に、募金にご協力いただいた方々のお名前を掲載しています。

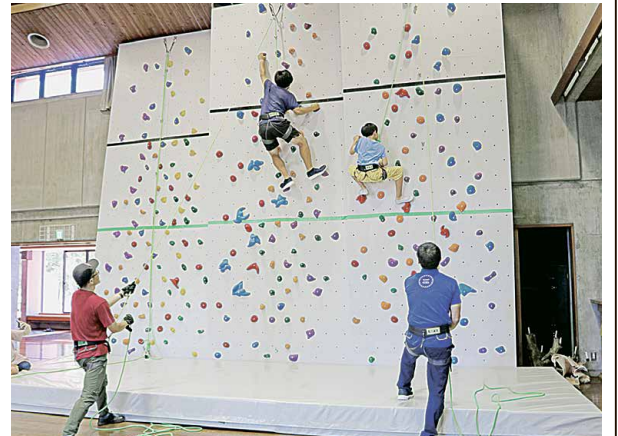
これらの記念事業を通して、当センターは今以上に社会に用いられ、YMCAが目指す未来を応援してくださる方が増えていくことを願っています。次の50年、100年も皆さまと共に歩めますように。引き続き、ご支援、ご協力をよろしく願います。



キャンプで仲間と力を合わせて漕ぐビッグカヌー



大人も子どもも楽しめるアーチェリーレンジ



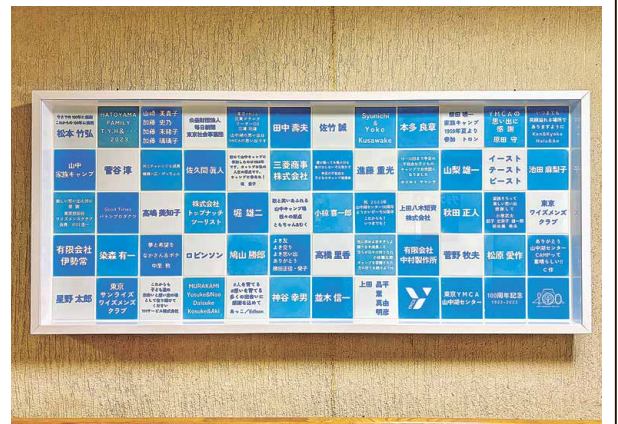
3段階の難易度に挑戦できるクライミングウォール



キャンプでの火おこし体験



障がいのある方も使いやすい「誰でもトイレ」



▲10万円以上の募金者を記した特製タイル

◀メインホール（食堂）に設置された、3万円以上の募金者および支援企業・団体の銘板



言語の壁で自信を失う子どもたちに、仲間との出会いと未来につながる体験を

4/18まで

外国にルーツのある子どもたちへ

クラウドファンディング開始

目標額250万円

今年のソシアスフォーラムでも共有されましたが、日本に暮らす外国にルーツのある子どもたちは、日本生活習慣や集団生活を体験する機会が少なく、幾つもの壁や特有の課題に直面しています。これを受け、東京YMCAでは多文化共生スペース▽(さんかく)により、2023年から日本語サポートクラス、野外活動、サマーキャンプを実施している子どもたちの笑顔につながることを願っています。

子どもたちにとって、プログラムを通じて同じ境遇にある仲間と出会い、共に過ごす機会はとても貴重です。互いに支え合い、勇気を与え合おう思い出はきつと忘れることはないでしょう。「ありのままに」「安心して」「楽しく」

クラウドファンディングはこちら

1月22日、23日、東日本地区スタッフ研修が行われた。「声なき声を聴くには?」現実と史実の見つめ方」と「キリスト教の理解を深める」をテーマに北海道から横浜まで9つのYMCAの総主事と参加者33人が福島県双葉郡に集まった。

初日は、富岡町の「東京電力廃炉資料館」を訪れ、東京電力のスタッフから説明を受けた。まだ多くの方が廃炉作業を進めている現状や、廃炉まで何年もかかるという今後の課題について復興だと思われがちだが、その

きれいな場所には被害に遭われた方の思い出や遺品がまだ埋まっているかもしれないことを聞き、「復興とは何なのか」について考えさせられた。

再認識する貴重な機会となった。(ウエルネス事業部 健康教育 吉田有貴)



(最終回)

東京YMCA総主事 菅谷 淳

総主事カフェへようこそ。

YMCAの世界では「総主事」という言葉は馴染み深いものですが、一般の方には少し分かりにくいかもしれません。この「総主事カフェ」を書き続けて8年になりますが、今回は、あらためて「総主事とは何か」についてお話ししたいと思います。

Men's Christian Association”です。ですが、日本では「Young Men」のように訳すのが議論になりました。「少年」では幼すぎ、「若者」では未熟な印象がある。そんな時、中国の漢詩『唐詩選』にある「青雲志を高くす」にヒントを得ました。「青雲」とは、雲の上に広がる澄み切った青空。そこには、高い理想を掲げ、それを実現しようとする意志が込められています。こうして生まれたのが「青年」という訳語であり、この言葉はYMCAから日本中、そして漢字文化圏に広がりました。

来年度、全国のYMCAで6人の新たな総主事が誕生します。YMCAは「キリストの愛と奉仕の精神」に基づく運動です。その精神を胸に、志を高く持った人々がバトンを受け継ぎ、歩を進めていくことでしよう。

19世紀半ば、産業革命が進む中で、子どもまでもが過酷な労働環境に置かれ、人々は希望を見出せなくなりました。そのような状況の中で、「何とかしなければ」と立ち上がったのが、20代の若きクリスチャンたちでした。彼らは、青年たちの心と体を支えるためにティールラウンジや図書室を開き、講演会や集会を開いていきました。この小さな動きがやがてヨーロッパへ広がり、北米を経て、日本にも伝わりました。そして1880年、東京YMCAが誕生したのです。

YMCAの正式名称は「Young Men's Christian Association」です。その主事たちをまとめる存在が「総主事」です。YMCAの理念を体現し、組織を導くリーダーの責務は大きく、総主事には多くの力が求められます。たとえば、1. YMCAを経営する力・理念を実現するために、組織を健全に運営し続ける力

2. ファンドを獲得する力・活動を支えるための資金を集める力 3. 組織として行動する力・ともに働く人々と信頼関係を築き、導く力 4. コンプライアンスを尊重する力・法や規則を守り、YMCAの公正さを保つ力

5. 労務を管理する力・職員が安心して働ける環境を整える力 6. 地域社会を開拓する力・YMCAが地域にどのように貢献できるかを考え、実行する力 7. 人材を発掘し育成する力・次世代のリーダーを見つけ、育てる力

東京-NY フロストバレー便り

*ニューヨーク近郊の日系人を対象にキャンプなどを行っている「東京-フロストバレーYMCAパートナーシップ」。現地に出向中のスタッフからのお便りを紹介します。

学生を中心としたボランティアリーダーの存在は、日本のYMCAが誇る素晴らしい文化であり、活動だ。卒業後はYMCAに関わる機会が少なくなることが多いが、それぞれの場所で活躍していることを見聞きする。昨今の山中湖センター100周年クラウドファンディングでは、多くの方からリーダー時代の経験や思い出のメッセージが寄せられ、読んで胸が熱くなった。

そんな中、東京-フロストバレーYMCAパートナーシップでは、有識者と共に、日本で社会人経験のあるユース世代にアメリカで働く経験を提供できないか検討を重ねた。ユース世代を巻き込みYMCAの担い手を育てていきたいと考えている。検討を重ねた結果、2023年春から18カ月のインターンプログラムが始まった。現在、二人目が活躍中である。グローバル化が進みこの先何が起るかかわからない中、海外に出てスキルを身につけたい、キャリアアップを見据えて経験を積みみたいと思うユース世代が対象だ。コロナ禍で望んでいても留学できなかったという声もあった。

手探りでスタートしたインターンプログラムの募集は、YMCA関係者からの紹介を大切に。応募者からは、YMCAでお世話になったスタッフからの紹介だから安心だと思ったという声が届く。全国YMCAの協力を得て、なんとか軌道にのせることができたことを感謝した



フロストバレーで働く仲間たちと(最前列の左端が星住さん)

い。このインターンプログラムは、常時20名ほど在籍するフロストバレーYMCAアウトドアインストラクターの一員となり、質の高いプログラムをキャンパーやゲストに提供する。生活はキャンプ場内の住居に住み、仲間との共同生活だ。言語が異なる異文化の中でも、学生時代にYMCAでボランティアリーダーをしていた経験が、随所でいかに発揮されていると感じる。現地フロストバレーYMCAディレクターからの評価も高い。

「仕事をするにつれわかったことは、移民が多いこの国では自分が思っているほど、外国人扱いされないということだ。」「さまざまな国籍やバックグラウンドの人たちと関わり、一緒に仕事をしたことは自分にとって大きな経験となった。」インターンの感想である。日々、新しい発見があり、国際感覚が磨がれていることが伺える。帰国後の活躍も期待したい。

「ひとりが良くなると世界はきっとこう変わる。」引き続き、激動のニューヨークにてYMCA運動に邁進したい。(東京-フロストバレーYMCAパートナーシップ 星住秀一)

いんぷおめーしょん INFORMATION インフォメーション

■早天祈祷会(4月)■

会員有志が聖書について自分の考えなどを語る「奨励」の後、皆で祈り讃美歌を歌います。クリスチャンでない方もお気軽にどうぞ。

日時:2025年4月1日(火) 7:00~8:00

奨励者:篠田真紀子氏(日本基督教団 浅草教会牧師/東京YMCA 評議員)

会場:オンライン/山手センター 問合せ:会員部(03-6278-9071)

●●● 会員のご案内 ●●●

「会員」とは、東京YMCAの主旨に賛同し、会費によって活動を支えて下さる方のことです。YMCAは、青少年の健全な成長をサポートし、地域社会に奉仕し、公正で平和な世界をつくるために、より多くの会員と共に活動していただけることを願っています。



詳細はこちら

感謝報告

山中湖センター 100周年記念募金に3千万円

未来の子どもたちのための「山中湖センター100周年記念募金」に下記の方々からご協力いただき、募金総額は30,002,000円となりました。感謝してご報告します(関連記事2面)。(敬称略/五十音順/匿名希望者を除く)

【個人】

- List of donors including: 相澤裕子, 青木一芳, 青木清子, 青木毅司, 青山鉄兵, 秋田正人, 阿久津栄, 浅羽俊一郎, 芦田利男, 阿部俊介, 天野訓宏, 天野公太, 荒木 暁, 有里公德, 安保伸江, 飯島隆輔, 井内正人, 井口 真, 池内寛子, 池田麻梨子, 池田美弥子, 池邊照彦, 石井祐子, 石川 理, 石橋英樹, 石丸泰樹, 磯田幸子, 出沼一弥, 伊藤剛士, 伊藤真太郎, 伊藤美穂子, 伊藤 恵, 犬尾英里子, 井上芽衣, 井上泰子, 岩井真理, 岩尾真穂子, 岩城明子, 上田浩平, 上田晶平, 上野昌之, 上原奈奈, 氏家 寛, 氏家純一, 内田祐司, 内野倉千枝子, 内山雄治, 梅田妙子, 浦崎暁子, 江尻明子, 江尻哲二, 江田謙太郎, 笈川光郎, 大木麻子, 大里真理子, 大澤篤人, 太田幸嗣, 太田富雄, 太田帆南, 大塚雅子, 大津桃子, 大野 勉, 大橋めぐみ, 大原まどか, 大村洋永, 岡田ナスカ, 岡部彩子, 小川則子, 小川寛史, 小川雅代, 尾木聖二, 沖 利柯, 沖谷奈都子, 小倉 淳, 小倉喜一郎, 小倉 哲, 尾崎敦子, 押山愛紀子, 尾関知子, 小名木未央子, 小野純子, 小畑貴裕, 小原史奈子, 小原武夫, 小俣雅稔, 小山憲彦, 小山久恵, 甲斐栄喜, 柿沼敬喜, 覚幸香代子, 景浦美佳子, 川崎志邦, 勝田正佳, 加藤正雄, 加藤 遥, 加藤史乃, 金丸満雄, 金平輝子, 上垣内謙, 上條正人, 神谷幸男, 亀岡淳一, 亀田まゆ子, 菅野攻太, 北村達哉, 衣笠輝夫, 木引大輔, 草分俊一, 草分容子, 口原恵美子, 久保田貞視, 熊沢佳代, 倉林由衣, 軍司純江, 小岩凜美, 功能文夫, 小海老澤和樹, 小口多津子, 小林明彦, 小林幸治, 小林 隆, 小堀友大, 小松美樹, 小松康広, 小宮山景子, 菟淵光彦, 近藤寛和, 西條久美子, 齊藤希世, 齋藤昭七, 齋藤 新, 齊藤正昭, 齊藤 實, 齋藤由佳, 佐伯かおり, 佐伯 紘, 榊原正人, 榊原留美, 佐久間春枝, 佐久間真人, 佐竹啓子, 佐竹 誠, 貞安美千子, 佐藤 仁, 佐藤茂美, 佐藤正子, 佐藤信也, 佐藤匡弘, 佐藤雅一, 佐藤基文, 佐渡加奈子, 佐野直史, 寒川真琴, 澤栗勝人, 澤村奈緒, 塩田瑞代, 篠田秀樹, 篠田真紀子, 柴田瑠子, 柴田優子, 柴田 大, 島田 輝, 清水盛充, 白川 健, 進藤重光, 新内博之, 菅谷 淳, 菅原成臣, 杉浦孝夫, 杉田裕樹, 杉野歌子, 杉本浩之, 鈴木俊明, 住友かつ子, 駿河幸子, 関 桜子, 関山智美, 曾根田順子, 園原琴美, 高田京子, 高田真弓, たかだまさゆき, 鷹取正豪, 高梨直樹, 高橋 伸, 田口剛之, 田口 努, 竹内英雄, 田島外志美, 多田健一郎, 田附和久, 立田佳明, 伊達潮美, 田所悦子, 田中壽夫, 田中博之, 玉田ゆき子, 為我井輝忠, 樽本カヨ, 壇 和宏, Charles D.Lakell, 都築尚子, 堤 愛子, 鶴 清忠, 出村恵子, 出村武志, 寺川祐介, 寺下真哉, 東矢高明, 渡嘉敷大海, 渡嘉敷優子, 戸坂昇子, 冨子久夫, 豊田登美子, 内藤迪子, 中内俊一郎, 中内秀子, 長尾孝則, 中里 敦, 中島二三子, 中田純子, 中谷 綾, 中田真由美, 永田瑞穂, 中野 実, 中野 拓, 中林由花莉, 中村薫子, 中村謙一, 中村基信, 中村義仁, 中元美佳, 中山ゆり子, 並木信一, 西木 晋, 西木 航, 西澤友利子, 西園章子, 西園 洋, 西山千香子, 納谷和子, 野澤千紘, 野澤晴彦, 芳賀 威, 芳賀真紀, 長谷川あや子, 鳩山勝郎, 鳩山徹郎, 浜野京子, 林佐智代, 原 祥壽, 原田 守, 原 博直, 春山七虹, 春山武蔵, 春山水美, 春山美夏子, 半沢さゆり, 東原燎平, 樋口範子, 平岡大作, 平田真基, 廣井彩由美, 廣田光司, 廣田康人, 福田 一, 藤村美加子, 船山暁子, 古市 健, 古市 慎, 古地友瑠, 古野恵美子, 紅谷 聡, 保坂天蒼, 星住秀一, 星野太郎, 細金和子, 堀 雄二, 本田真也, 本多良章, 前田 格, 前田節子, 前田達哉, 前田有香, 蒔田敏雄, 牧野真佐子, 増田 忠, 松井耀一郎, 松川岳久, 松下礼子, 松田幸大, 松田弘行, 松永尚樹, 松原愛作, 松原奈美, 松村 隆, 松本数実, 松本竹弘, 眞野玄範, 丸目陽子, 三浦功雄, 三浦倫子, 水門竜哉, 御園生好子, 三田村基, 光永尚生, 三ツ橋進一郎, 三宅捷子, 宮越まどか, 宮田 諭, 宮本結花子, 向井克彦, 向井宏佳, 武藤順子, 村岡恵実, 村岡伸吾, 村岡祐樹, 村上直子, 村上祐介, 村越晃司, 村野 繁, 村山達哉, 望月 朗, 森園 天, 守屋厚志, 森山正樹, 安井正人, 安岡利一, 八杉 泰, 安間史子, 柳澤正彦, 柳原みずき, 柳瀬一正, 山口 将, 山口直樹, 山崎 巧, 山下智子, 山下 真, 山下 誠, 山田公平, 山梨雄一, 山本 薫, 湯元かなで, 横山久俊, 吉岡新奈, 吉田紘子, 吉田有貴, 米田直人, 若松佐和子, 渡辺修一, 渡邊珠奈, 渡辺愛巳, 渡邊美彩子, 綿引康司

【法人・団体】

- 伊丹亭, 上田八木短資株式会社, 学校法人東京YMCA学院 江東YMCA幼稚園, 株式会社栗田建築事務所, 株式会社ツカサ・エンタープライズ, 株式会社トップナッチツリスト, 株式会社富士メンテサービス, 株式会社ヤマシタ, 株式会社リクラボ, 株式会社レクトン, 公益財団法人毎日新聞東京社会事業団, 公益財団法人山梨YMCA, 社会福祉法人賛育会, 第25回 武蔵野YMCA O Bキャンブ, 手足の不自由な子どものキャンブ後援会, 鶴川シオン幼稚園, 東京グリーンワイズメンズクラブ, 東京江東ワイズメンズクラブ, 東京サンライズワイズメンズクラブ, 東京世田谷ワイズメンズクラブ, 東京八王子ワイズメンズクラブ, 東京東ワイズメンズクラブ, 東京山手YMCA OBOGリーダー会一同, 東京ワイズメンズクラブ, 日本キリスト教団奥沢教会教会学校, バトンプロダクツ株式会社, 三菱商事株式会社, 山中家族キャンブ, ユアサハラ法律特許事務所, 有限会社池田建築設計事務所, 有限会社伊勢常, 有限会社長田土木, 有限会社中村製作所, YMサービス株式会社, YMCAすずらん会



高尾の森わくわくビレッジでは、小学生や中高生を対象に様々なキャンブなどのイベントを行っています。このようなイベントの内容や、事前準備、運営までをボランティアリーダーと共に作り上げています。

ボランティアリーダーに興味のある方、子どもたちと遊んだり、何かしたい!!と思っいる方を対象に説明会を実施します。経験が無くても全く問題ありません!対象は18歳以上の大学生・専門学校生です。

「ボランティアリーダーってどんなことするの?」「わくわくビレッジってどんなところ?」「今までどんなキャンブしてきたの?」など、詳しい話を聞きたい方は、この機会にぜひ説明会へご参加ください!!

- 日程のご都合が合わない方はご相談ください。 ●ボランティアリーダーは随時募集中です!

詳しくはお電話またはホームページにてご確認ください

- 【対象】 18歳以上の大学生・専門学校生 【開催日程】 4月6日(日)、13日(日)、20日(日) いずれの日も①11:00~ ②13:00~ ③15:00~ ※各回約1時間、内容は同じです 【お申込み】 お電話またはメールにて下記内容をお送りください。(042-652-0911/event@wakuwaku-village.com) ①お名前(ふりがな) ②年齢(学年) ③性別 ④学校名 ⑤電話番号 ⑥参加する日にちと時間(例:4月20日 ①11時~)